

嚥下機能が低下した患者さんが服薬するときの対策

嚥下機能が低下している患者さんは誤嚥、残留、胃食道逆流などを起こしやすくなっています。その対策として、下記の様に薬剤師から処方医への薬剤提案や患者さんへ服薬方法の説明が推奨されています。

誤嚥¹⁾

お薬の誤嚥は、窒息、無気肺、気道損傷などの原因となります。嚥下能力が低下している患者さんがお薬を誤嚥しないように、**①処方医への薬剤提案**、**②服薬方法の説明**などを行きましょう。

①処方医への薬剤提案の例

- 比較的小さいお薬、投与回数の少ないお薬を選択する
- 貼付剤、坐剤、吸入剤など他の剤形を選択する
- OD錠やドライシロップなど飲み込みやすいお薬を選択する

②服薬方法の説明例

- ゼリーやオブラートに包む
- リクライニング位で服用する(図1)
- 首を前屈させて服用する
- 鼻の部分のカットしたコップを使用する(図2)
- 嚥下障害の患者さんには、OD錠の場合でも服用後に唾液を飲み込んだり、水で流し込むようにする^{*}

図1 リクライニング位

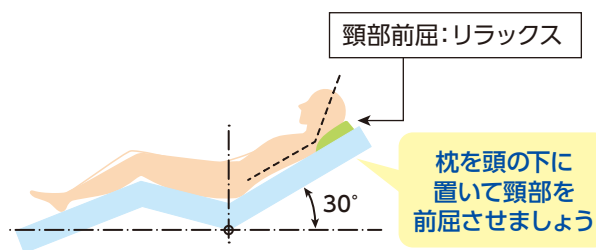


図2 鼻の部分のカットしたコップの使用



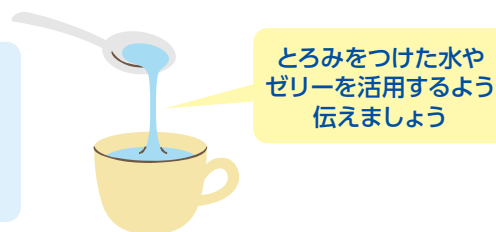
1) 藤島一郎. 内服薬 経管投与ハンドブック 第4版. じほう. 2020; P76-82. より改変

^{*}嚥下障害の患者さんは、OD錠が咽頭周辺に残留する場合があります。

残留¹⁾

咽頭・食道にお薬が残留すると粘膜損傷・潰瘍が発生することがあります。お薬の残留を防ぐためにとろみをつけた水、ゼリーなどを用いてきちんと飲み込める方法を指導しましょう。また、残留しにくい剤形を提案することも大切です。

- ゼリーに包む
- 服薬時の(とろみをつけた)水は十分に(100mL以上)飲む
- 嚥下しやすい薬剤を選択する

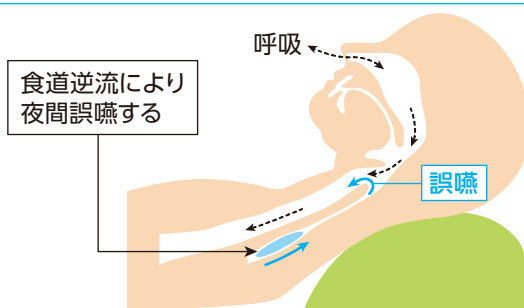


胃食道逆流^{1,2)}

胃食道逆流は誤嚥の原因となります。患者さんが服薬した後、胃食道逆流を起こさないために下記のような対策を説明しましょう。

- 内服後2時間は臥床しない
- 無理な場合は30度の傾斜を保つ

図3 夜間誤嚥のメカニズム



2) 藤島一郎. 口から食べる嚥下障害Q&A 第4版. 中央法規出版. 2011; P57. より改変

知っておきたい口腔内崩壊(OD)錠のこと

OD錠を服用する患者さんへの注意喚起³⁾

- 寝たままの状態のときは水なしでは飲まないように伝えてください。
- OD錠の中には吸湿性が高いものがあるので、そのようなOD錠は、飲む直前に包装から取り出すように伝えてください。

OD錠に関する注意事項を
忘れずに伝えましょう



水分摂取量の調整が必要な患者さんに対するOD錠の有用性⁴⁾

OD錠は水なしで服用できるため、次のような水分摂取量の調整が必要な患者さんに有用です。*

- 水を飲むことに抵抗のある排尿障害や過活動膀胱の患者さん
- 水分摂取制限のある高血圧や腎疾患の患者さん



※嚥下障害の患者さんは、OD錠が咽頭周辺に残留する場合がありますので、服用後に唾液を飲み込むようにしたり、水で流し込んだりするように伝えてください。

大規模災害時に求められる医薬品とは？^{5,6)}

薬剤師が災害発生時に医薬品を迅速に確保・補給し、的確な医薬品情報を処方医に提供し処方提案するためには、平時から医薬品を備蓄することが重要です。また、医薬品のニーズは変化していきます。服用面、管理面、調剤面などを考慮して、災害時に適した医薬品を備蓄しておきましょう。

服用面 ● 服用時に多くの水を必要としないOD錠など

管理面 ● 室温保存 ● 遮光不要
● 高張らない ● 包装単位が小さい

調剤面 ● 希釈が不要な液剤 ● 薬剤師の認知度が高い
● 成人にも小児にも使える



【参考文献】

1) 藤島一郎. 内服薬 経管投与ハンドブック 第4版. じほう. 2020; P76-82.
2) 藤島一郎. 口から食べる嚥下障害Q&A 第4版. 中央法規出版. 2011; P57.
3) 独立行政法人医薬品医療機器総合機構
<https://www.pmda.go.jp/safety/consultation-for-patients/on-drugs/qa/0002.html>
(2023年5月閲覧)

4) 内田信也 ほか. PHARM TECH JAPAN. 2020; 36 (3): 61-70.
5) 宮本篤. 札幌医学雑誌. 2011; 80 (1-6): 7-13.
6) 若林進. 杏林医会誌. 2015; 46 (4): 285-289.



第一三共エスファ株式会社

URL <https://www.daiichisankyo-ep.co.jp/>

【お問い合わせ先】

第一三共エスファ株式会社 お客様相談室 ☎ **0120-100-601** 受付時間: 平日9:00~17:30 (土・日・祝日・弊社休日を除く)

【夜間・休日 緊急時のお問い合わせ先】

日本中毒情報センター第一三共エスファ受付 ☎ **0120-856-838** 受付時間: 平日17:30~翌9:00及び土・日・祝日・弊社休日

EPALL1P06701-1
2023年5月作成